

文部科学大臣

下村博文 様

静岡県知事の「全国一斉学力テスト」校長名公表を後押しした 貴大臣の基本姿勢に対する抗議声明

日頃より教育条件整備にご尽力頂きありがとうございます。

さて、静岡県の川勝平太知事が20日、2013年度全国学力テストの小学国語Aの成績が全国平均以上だった県内公立小学校の校長86人の名前を公表しました。知事は、9日に成績が悪かった下位100小学校の校長名を公表する意向を示していましたが、若干方針を修正し「上位校」の校長名を公表しました。首長の判断で学校別の成績を自ら公表するのは初めてですが、この背景に、貴大臣の記者会見を通しての後押しがあり、教育行政を司る大臣として、極めて問題があり強く抗議するものです。

貴大臣は、公表について「基本的に好ましくない」という一方、「県の教育委員会やあるいは市町村の教育委員会と相談した上で、いい取り組みをしているところについては、知事が褒賞的な意味でモデル的な意味で公表するという事は、あってもいいというふうに思いますが、ペナルティ的なことがどれぐらい教育効果、効果としてプラスに転じるのかどうかということについては、これは慎重に考える必要があると思います」（9/10記者会見）と述べました。要するに、「褒める」なら「公表」もいいということです。

貴大臣も会見で言われたとおり、「全国学力テスト」の結果の公表にあたっては「学校の序列化や過度な競争につながらないように配慮することも必要であるというのが文部科学省のスタンス」です。しかし、すでに学校現場や各県の教育現場には無用な競争意識が持ち込まれ、あたかも子どもの学力を客観的に評価できるかのような一面的な学力のとらえを現場に蔓延させ、学力がついたかどうかは、結果的に全国平均との比較で評価されるという非教育的な弊害を広げてきました。

したがって、貴大臣が言われる「褒賞的な意味」であったとしても、結果を公表することは、「学校の序列化や過度な競争につながらないように配慮する」ことに反するものであり、全国学力テストの非教育的な弊害をいっそう広げることが大変危惧するものです。

貴大臣には、「子どもが世界で一番過ごしやすい国」づくりの先頭に立つ姿勢こそとめます。私たちは、今回の静岡県知事による「全国学力テスト」結果の校長名公表を後押しした貴大臣の基本姿勢に抗議するとともに、全国の学校現場に歪んだ点数競争と教育を持ち込んでいる「全国一斉学力テスト」をただちに中止することを求めます。

2013年9月24日

長野県教職員組合執行委員会